

おおづまち議会だより

OZU

2026
115号

今月の定例会は

12月 3月

9月 6月

大津町70周年 ×
本田技研工業(株)熊本製作所50周年記念展示



大津町 × HONDA



本会議動画
配信中

議会だよりが
読めるHP



令和8年度の予算



一般会計予算199億9,628万円の 予算が成立しました。

3月定例会は、3月2日から19日の18日間の会期で開催され、町長から提案された専決処分の承認1件と振興総合計画の策定に関する議案2件、損害賠償に関する議案1件、規約の変更1件、計画の策定1件、町道の路線廃止認定2件、条例関係8件、令和7年度分の補正予算9件、令和8年度予算関係9件、最終日に追加された契約の締結1件の計35件が審議され、可決されました。

また、文教厚生常任委員会から決議の提出1件、議員有志による意見書の提出が1件ありました。

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	坂本典光	岩下啓史	中山直之	清原さおり	大塚勝二	村山龍一	大村裕一郎	田代元氣	時松智弘	西川秀貞	大塚益雄	三宮美香	山部良二	山本富二夫	豊瀬和久	佐藤真二	賛成 (○)	反対 (●)
大津町振興総合計画基本構想の策定について	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
大津町振興総合計画基本計画の策定について	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
大津町立保育所の延長保育事業、一時保育事業及び休日保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
令和8年度大津町一般会計予算について	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	12	3
令和8年度大津町国民健康保険特別会計予算について	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
令和8年度大津町介護保険特別会計予算について	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
令和8年度大津町後期高齢者医療特別会計予算について	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
令和8年度大津町工業団地整備事業特別会計について	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 棄は(棄権) 欠は(欠席)

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会

発委第1号 学校給食無償化の実施に関する決議の提出について 提出者 文教厚生常任委員会 委員長 山本 富二夫

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するのみならず、憲法が定める義務教育無償の精神を具現化する重要な教育活動である。昨今の物価高騰による家計への影響が深刻化する中、子育て世帯に対する直接的な支援として、給食費の無償化に対する住民の期待は極めて高い。

しかしながら、国の方針に準じて小学校のみを先行して無償化することは、同一の義務教育期間にありながら、中学生の保護者に対して継続的な負担を強いるものであり、自治体内における行政サービスの公平性を著しく欠くものである。特に、成長期にあり食費負担が増大する中学生の子を持つ世帯において、支援から取り残されることによる不公平感は看過できない。

大津町が掲げる子育て支援施策の整合性を保ち、全ての児童生徒が等しく教育の恩恵を享受できる環境を整備することは、本町の責務である。よって、大津町議会は、町長および教育委員会に対し、必要な措置を速やかに実行するよう強く求めるものである。

上程された議案・概要	坂本典光	岩下啓史	中山直之	清原さおり	大塚勝二	村山龍一	大村裕一郎	田代元氣	時松智弘	西川秀貞	大塚益雄	三宮美香	山部良二	山本富二夫	豊瀬和久	佐藤真二	賛成 (○)	反対 (●)
学校給食無償化の実施に関する決議について	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

発議第1号 中学校給食費の早期無償化等の保護者負担軽減を求める意見書の提出について

提出者 大津町議会議員 時松 智弘

中学校段階の無償化等の保護者負担の抜本的な軽減には明確な期限が設けられておらず、「できる限り速やかに」とする表現にとどまっている現状から、自治体間で生じてきた給食費負担の差の是正、全国どこでも一定の教育環境が確保され、自治体の財政、給食の質、地産地消の推進等に鑑み、国の中学校給食費の令和8年度中の無償化等、保護者負担軽減の実施を求める。

上程された議案・概要	坂本典光	岩下啓史	中山直之	清原さおり	大塚勝二	村山龍一	大村裕一郎	田代元氣	時松智弘	西川秀貞	大塚益雄	三宮美香	山部良二	山本富二夫	豊瀬和久	佐藤真二	賛成 (○)	反対 (●)
中学校給食費の早期無償化等の保護者負担軽減を求める意見書の提出について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0

議員の視点

(本会議での質疑の一部を抜粋して掲載しています)

定例会総括

議員の視点

委員会レポート

一般質問

研修会レポート

アンケート集計

インスタ



おおつか かつじ
大塚 勝二
議員

問 給食配送車事故を受け、再発防止策を問う。

答 シルバー人材センターへ安全対策の徹底を申し入れ、運転者の見直しや同乗者による確認、バックモニター活用の徹底で安全確保に努める。

ときまつ ともひろ
時松 智弘
議員

問 平川準用河川について、以前一般質問をした後に対応していただいているが、今後の改修スケジュールの概要を問う。

答 平川河川延長12キロの流下能力の調査を行い、想定雨量と照らし河川断面の改修などを令和9年度以降実施できればと考えている。

むら やまりゅういち
村山 龍一
議員

問 小・中学校通学区等検討委員会はどのような内容なのか。

答 大津南小学校の校区を検討するもので、南小学校に比較的近い灰塚区・新区エリアについて検討を行う。

いわした けいし
岩下 啓史
議員

問 新駅周辺市街地創出検討業務委託は中間駅の業務委託だと思うが、調査内容は何か。

答 中間駅周辺の市街地創出に向け、地域住民や関係団体を対象に勉強会を開催し、将来像を共有・整理しながらまちづくりのイメージを作成するための調査業務になる。

さとう しんじ
佐藤 真二
議員

問 高齢者エアコン購入助成。町の単独経費だが、国の交付金を使えば町の負担も少なく、また低所得者も対象にできたのではないか。

答 国交付金は総合的判断で活用していない。熱中症リスクが高い高齢者を重視した。これまでも低所得者からのニーズはなかった。

とよせ かずひさ
豊瀬 和久
議員

問 令和8年度予算では公共施設2ヶ所へのWi-Fi整備費が計上されているが、多くの町民が利用する生涯学習センターへの整備予定を問う。

答 生涯学習センターは今後再生整備を進めるが、リニューアル前でも整備できるよう計画的に設置を検討する。

やまべ りょうじ
山部 良二
議員

問 大津町犯罪被害者等支援条例について、町営住宅 優先入居・支援・条例の周知は。

答 町営住宅は優先入居可能。支援については運用を検討・広報などで周知を行う。

たしろ げんき
田代 元気
議員

問 吹田団地の通学バスの通学費補助は定期券購入者限定となっており、使い勝手が悪い。定期券購入者以外のICカードの利用でも履歴などを確認し補助を行えないか。

答 定期券の利用が6割程度である。交付要綱の見直しもあるため、令和8年度で実態調査を行う予定。

にしかわ ひでつぐ
西川 秀貢
議員

問 施政方針は取組強化を示しながら、予算は昨年同額の500万円に据え置きで整合しない。防犯カメラ整備は急務であり、委員会での更なる検討を求める。

答 取組強化は記載したが予算には限りがある。重要性は認識しており、警察や地域と連携し計画的整備を進める。

おおつか ますお
大塚 益雄
議員

問 乗り合いタクシーの拡大については、高齢者にとってありがたい。利用者の予約があれば柔軟に対応すべきではないか。ジャンボタクシーの導入はしないのか。町民への周知とガイドブックの作成を再度すべきではないか。

答 乗り合いタクシー利用は運行時間に合わせて予約1台ないし2台準備し、それ以上の場合は次の便の対応となる。4月からの状況を見て対応していく。ジャンボタクシー導入もタクシー事業者と検討する。また、町民の周知は広報、HP、チラシ等で周知する。

やまもと ふじお
山本 富二夫
議員

問 町で設置をしている防犯カメラの台数はいくつか。また、各区で設置をする場合にはいくらの助成金が出せるのか。

答 町で設置をしている防犯カメラの台数は127台。各区で設置をする場合には、一台当たり35万円から50万円の助成金で対応している。

『あわ 幸せであり続けられるまち 大津』

振興総合計画を経た 具体策について

Q 大津町振興総合計画の実
施計画は、町民や議会に、い
つ、どのような形でわかりや
すく説明するのか。

A 実施計画は、3年間の
ローリング方式で、予算編成
の基礎として作成している。
新年度予算に反映させたいう
え、内容を整理し、公表を行
う。

意見 実施計画は、わかりや
すい表を作成し、町民がいつ
でも確認できるよう公表して
ほしい。



第7次振興総合計画の冊子

辺地総合整備計画の策定は

Q 辺地総合整備計画は、公
共的施設の整備など、どのよ
うな事業でも辺地債を利用し
て実施できるのか。

A 事業メニューの公共的施
設の基準に該当すれば可能で
ある。辺地に該当する地区の
公共施設を整備する場合は、
整備計画書を作成することで
辺地債を活用できる。



内牧地区の若戸神社入口

DX推進事業の効果は

Q DX推進事業について、
具体的な内容の説明は。

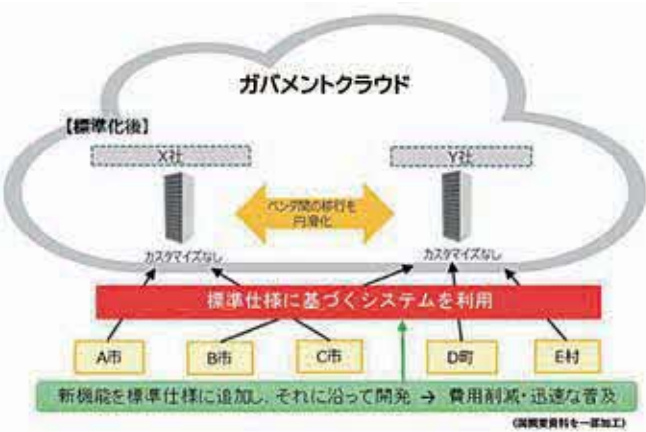
A 窓口業務の効率化を図る
ため、窓口DXシステムの導
入を予定している。オンライ
ン申請など「行かない窓口」
申請書の記入を不要とする
「書かない窓口」職員が対話
により手続を整理する「相談
窓口」の三つの形態で住民の
手続を整理するものである。



窓口業務のイメージ写真

町の安心と運営を支える
総務委員会
レポート

おおづまち しょうらい
大津町の将来ビジョン
いま みらい
『**今も未来もみんなが**



ガバメントクラウドのイラスト

ガバメントクラウドの利用効果について

Q ガバメントクラウド利用料の費用や内容はどうなっているのか。

A 住民基本台帳や税などの基幹業務システムについて、国が推進する標準化共通化に伴い、これまで自治体ごとに運用していたシステムを国が指定するガバメントクラウド上で運用する仕組みに移行する。対象業務は国が定めた20業務でクラウドを利用するための費用になる。

防犯カメラの仕様は



室地区に設置してある防犯カメラ

Q 防犯カメラの仕様は決まっているのか。条件を満たすのであれば、安い機種を使用し、10件以上設置できないか。

A 機種は定めてないが、仕様書で200万画素以上の性能を満たすものとしている。台数も補助の制度改正が行われており、1台設置で35万、2台で45万、3台以上で50万の補助限度額と設定しているため、希望する台数次第で10件以上対象にできる。

雨庭設置工事はどのようなものか

Q 雨庭設置工事の構造はどうなっているのか。

A 熊本県立大学が研究を行っているおり、推奨されている構造で設置を行う予定。施工方法には50センチほど掘り下げ、土壌改良を行いながら、埋め戻しをする。



熊本県立大学の雨庭

ち い き さ ん ぎ ょ う か だ い 地域産業の課題



大津町のカライモ

農産物のブランド化は

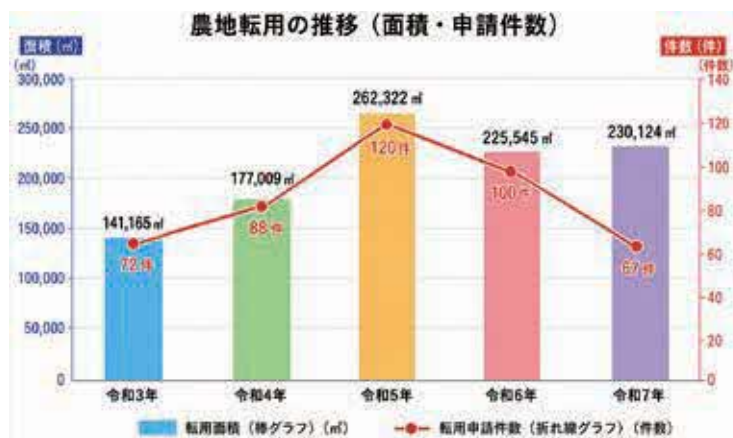
Q 農産物のブランド化は、今後どのように行っていくのか。

A 第6次振興総合計画において目標達成できていないこともあり、継承する形で強力に推進し、ブランド化を図りたい。

農地転用状況は

Q 現在の農地転用状況は。

A TSMC進出発表前の3年間の転用申請は年平均71件。発表後は102件。令和7年度は7月以降落ち着いていたが、第2工場の工事再開から相談件数は増加している。



被害防止用電気牧柵とシカ防止用テープ

鳥獣被害防止対策

Q 鹿の頭数が増えており電気牧柵を飛び越えて入ってくる鹿に対して有効な対策はあるか。

A 県にも相談しているが、有効な対策は見つかっていない。引き続き研究していきたい。

くらしと産業の土台を創る

経済建設委員会 レポート

まちづくりと

ビクターセンター駐輪場 整備は

Q 駅南ビクターセンター駐輪場の区画線設置で、点字ブロックへの影響はないのか。

利用台数を踏まえ、応急対応でなく自転車止め設置など、根本的対策が必要ではないか。

A 点字ブロックをふさぐことがないように区画線工事を行っていく。駅周辺まちづくり基本構想で、駅周整備を検討しているため、今回はソフト的な手法で対応する。



区画線設置された駐輪場



審議中の様子

工業団地の スケジューリングは

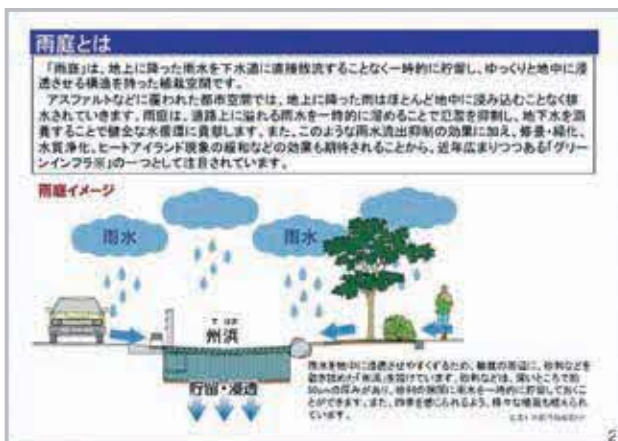
Q 整備中の工業団地は、企業への分譲はいつから始めるのか。また、早く売却した方がよいのではないか。

A 周辺自治体では造成工事完了前に企業の募集をしているため、同様に造成工事完了前に企業を募集し、完成後にすぐ売買契約ができないか検討している。

工業団地の地下水涵養は

Q 工業団地は地下水涵養の取り組みを実施するのか。

A 地下水涵養を実施するよう県からも指導を受けている。造成に伴う涵養として北西側の緑地と周辺の緩衝体を緑地とし地下水涵養エリアに設定している。また、企業が立地する際に地下水涵養を含めた環境などへの配慮・協力を求めた環境形成協定を締結する予定。雨水浸透ますや雨庭などの協力を依頼する。



雨庭の説明パンフレット

定例会総括

議員の視点

委員会レポート

一般質問

研修会レポート

アンケート集計

インスタ

早期導入を検討すべき

利用保障は こども誰でも通園制度の

Q こども誰でも通園制度では、利用したい園に空きがなくなり、利用したいこどもが利用できなくなるということもあるのではないかと。利用の保障がされる必要があるのではないかと。

A 各園で利用定員を定めることになる。利用する際には事前に保護者と園で面談を行い、利用計画を立てて、実際の利用となる。定員枠が埋まっている場合には、町内の他の実施園を案内するなどして、できるだけ利用できるように調整する。



不妊治療費助成事業費補助金拡充は、いつから

Q 不妊治療費助成事業費補助金が拡充されるが、いつから利用できるのか。

A 特定不妊治療は自己負担分に対し上限5万円、先進医療はその費用に対し上限5万円、人工授精などの一般不妊治療は自己負担分に対し上限4万円の助成を、令和8年度から予定している。

県の補助制度が令和8年度から先進医療のみを対象とすることから、本町では、一般不妊治療及び特定不妊治療についても町単独で助成を行い、経済的負担の軽減を図る。

治療種別	助成範囲
一般不妊治療 人工授精	最大 4 万円助成
NEW 特定不妊治療 体外受精 顕微授精 男性不妊治療	最大 5 万円助成
NEW 先進医療 厚生労働省 告示の 13技術	最大 5 万円助成

申請対象者
以下のすべてに当てはまる方が対象です。
 * 法律上の婚姻をしている夫婦
 * 医療機関において不妊症と診断を受けている
 * 治療を受けている期間において、他の自治体の助成を受けていない
 * 治療を受けた日から申請日までの間、夫婦いずれかが継続して夫婦間に妊娠数が増えつつあること
 * 町費を滞納していない
 * 加齢等により妊娠の年齢が、一般不妊治療の場合、41歳未満、特定不妊治療および先進医療、43歳未満

適用に当たっては、町費滞納は、ありません。

町ホームページより

バス通学定期券 購入の改善を

Q 吹田団地から通学する児童へのバスの通学補助および定期券購入について、使い勝手が悪いという声がある。町は現状を把握するため実態調査を実施し、改善できることがあれば検討すると聞いているが、進捗状況はどうなっているか。

A 吹田団地から通学する対象児童約100人のうち、定期券の申請率が6割にとどまっているとの質疑を受け、令和8年度に実態調査を行う予定。また、帰りのバスの時間が合わない時は保護者が送迎している現状などもふまえて、地区代表の保護者とも相談し、実状に応じた補助の在り方を検討する。



教育・子育て・福祉を所管する

文教厚生 委員会 レポート

ちゅうがっ こう 中学校も きゅうしょく ひ む しょう か 給食費無償化の

**一時保育利用者の負担増
説明するべき**

Q これまで一時保育の利用料は1日利用だと給食費込みで8時間2千円だった。改正すると1時間当たり50円増の250円から300円となり、結果的に値上げになる。利用者に対して説明する必要があるのではないか。

A 乳児等通園支援制度において、1時間300円を標準とし、給食費は別途徴収という取り扱いとされていて、一時保育事業も、同様に子どもを預かるという観点から、同一の料金体系として改正するもの。その点について改めて説明が必要だと考えている。



町ホームページより

中学校も給食費無償化を



「今日の給食」より抜粋

さらに中学校給食費無償化について議論を深めました

Q 国の制度により小学校の給食費は無償化されるが、中学校まで無償化の対象としなかったのはなぜか。小中学校は義務教育なので、同時に無償化にすべきではないか。

A 小学校の給食費は、国の制度により財政支援が行われるが、中学校は現時点で支援がない。町が単独で実施した場合、毎年約9千万円の新たな財政負担が生じる。このため、国の制度に基づき、小学校から無償化を先行して実施することとした。中学校給食費の無償化は、今後、国の制度や財源措置の動向を注視しながら検討する。

議案第26号関連

令和8年度

大津町一般会計予算

【反対討論】 給食費については、公平性・平等性、また義務教育の果たすべき役割という観点から、小中学校は同様に扱われるべきであり、小学校だけを無償化するということは考えられない。中学校も同時に無償化されるべきであるが、その予算が盛り込まれていないことから、本予算案には反対する。

【賛成討論】 なし

【採決】 賛成少数で否決

中学校も区別なく速やかに実施することを求めることを全員賛成で可決し、文教厚生常任委員会発議として本会議に提出した。

(詳細は2ページに記載)

定例会総括

議員の視点

委員会レポート

一般質問

研修会レポート

アンケート集計

インスタ

一般質問

町政を問う 3月定例会 一般質問に16人中12人が登壇



録画配信は顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。

町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを質すのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。一般質問のライブ・録画配信は行っています。

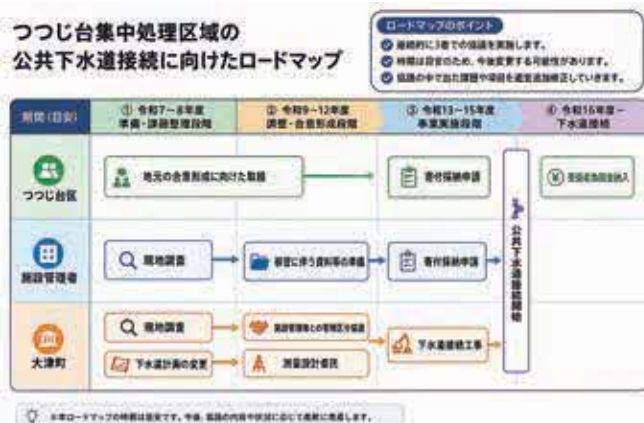
※一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

Q つつじ台区の下水道移管の道筋を明確に

A 10年目安のロードマップで協議を進行中



とよせ かずひさ
豊瀬 和久議員



Q つつじ台区の下水道移管問題は、単なるインフラ整備ではなく、住民の生活環境や将来の安心、そして町の責任ある行政運営が問われる重要な課題だ。

住民の皆さんは長年、施設の老朽化や将来負担への不安を抱えながら生活されている。町が検討を進めていることは理解するが、進捗がみえない状況は不安を大きくする。住民が将来に希望を持てるよう、町として明確な道筋を示すことを強く求める。

A 公共下水道への移管は、現在民間で運営されている施設を将来、町の公共インフラとして引き継ぐものだ。施設や管路の状況確認、手続きの整理、住民合意など多くの課題があるため、10年を目安としたロードマップを作成し、区長などの代表者・施設管理者・町の三者で協議を進めている。現在は現状確認や課題整理、役割分担の整理を行っており、今後は制度整理や住民説明を経て、移管に向けた具体的手続きを進める。(町長)

その他の質問

- ・RSウイルス感染症の重症化を予防するための取り組みについて
- ・民泊について
- ・デジタル商品券活用による生活者支援と地域経済活性化について

Q 勤労学生（准看護学生）の公的支援について

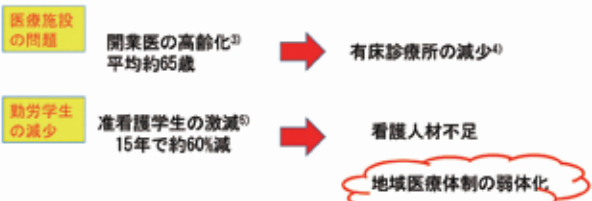
A 町全体の施策バランスの中で慎重に検討する



おおつか かつじ
大塚 勝二議員



地域医療崩壊リスクの構造



⇒ 地域で看護人材を育成する政策が必要

クリニックを守ること・看護師を養成することで、高齢者への医療や医療児ケアへの恒久的な対応が可能

①医師・歯科医師・薬剤師統計（厚生労働省）
②医療施設調査（厚生労働省）
③看護専門学校養成所統計（厚生労働省）

その他の質問

- ・インクルーシブな街づくりに向けた大津町の方針と、医療的ケアが必要な子どもへの支援体制について
- ・スポーツ振興における大津町の将来像と方向性について

Q 地域医療は道路や下水道と同様に、地域社会を支える重要な基盤である。しかし、看護学生の減少に加え、開業医の高齢化や有床診療所の減少が重なり、地域医療の維持が厳しくなっている。看護師不足が進めば、病床の縮小や外来機能の低下、診療制限などにつながり、住民が必要な医療を受けにくくなる。子育てや就労と両立しながら学ぶ勤労学生への支援を含め、将来を見据えた看護人材育成策を自治体として検討すべき

である。大津町として、公的資金を導入する考えはないか。

A 特定職種への新たな奨学金制度は、他職種との公平性や財政負担などを踏まえ、慎重に検討すべきである。

大津町奨学資金貸付条例に基づく無利子の奨学資金貸付制度・国や県、関係機関が実施している就学支援制度も含め、必要とする方々に確実に情報が届くよう、制度の整理とわかりやすい周知に取り組んでいく。

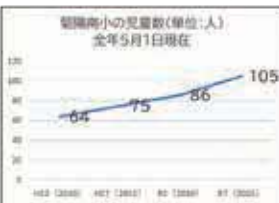
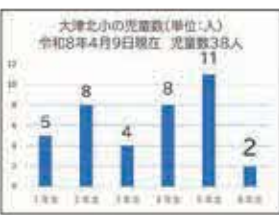
(町長)

Q 町独自の定住促進補助金制度を行うのか

A 町独自では行わない



むらやま りゅういち
村山 龍一議員



Q 菊陽町は、定住促進補助金制度を菊陽南小学校区で行っており、校区の児童数と人口が増えている。児童数は平成22年の64人から令和7年には105人と1.6倍となっている。人口も増えている。児童や人口の増加はいろいろな条件が重なり、増加していると思われるが、補助事業がきっかけとなっている。町独自の定住促進補助金制度を行わないのか。補助金だけでなく、定住促進や移住促進を進めるための考えはないのか。

A 令和6年度から行っている北小と東小学校区に限定した移住支援事業補助金は、現時点での活用実績はない。また、町独自の定住促進補助金を創設する予定はない。補助金は、施策のひとつの手段であり、補助制度が直ちに移住定住の促進につながるものではない。長期的なまちづくりの方向性のもと、都市計画や企業誘致を通じた働く場の確保、拠点形成、道路や生活基盤の整備、子育て教育環境の充実などを進めることが定住促進につながるかと考えている。

(町長)

その他の質問

- ・「町の将来像」について

Q 利用者が安心して利用できる施設整備を

A 安全な環境づくりに取り組んでいきたい



町民グラウンドCコート

その他の質問

- ・町づくり町民懇談会について
- ・中学校部活動の地域移行について

たしろ げんき
田代 元気 議員



Q 町民グラウンドの整備で、Bコートに280万円の予算をかけて改修を行うが、利用者や利用団体からは使用頻度が高いAコートやCコートを改修してほしいとの要望が高い。

グラウンド内に段差があることで走塁の時に転倒や、守備練習時に打球がイレギュラーすることで怪我をするリスクが高いため、早急に改修すべきである。

また、無断利用も多く見られる状況なので指定管理者と協力し、見回りの強化や有料施設であるなどの案内も必要ではないか。

A Bコートは他のコートに比べ表土の飛散が激しく、下層にある軽石などの露出が顕著であり、極めて危険な状態だったため、先行して改修を行った。また、今後の整備手法の有効性の検証としても位置付けている。

今後もBコートのように危険性がある箇所については応急的な補修、整備を実施していく。無断利用についても指定管理者と見回りの強化や対応を行う。

(教育長・教育部長)

Q 空港から大津町国道57号までの第3の空港線を

A 将来の町づくりの交通基盤の整備を進める



鉄道と4車線道路のイメージ図

その他の質問

- ・大津町の山林や田畑や住宅地を守る対策をすべきだ
- ・中学校・幼稚園や保育園の給食費を町独自で無償化に取り組むべきだ

やまもと ふじお
山本 富二夫 議員



Q 30年・50年先を見据えた取り組みで、熊本空港アクセス鉄道沿いに取付道路が新設整備されるなら、その取付道路を阿蘇くまもと空港から大津町国道57号までつなぐ4車線道路で第3の空港線として、県や国に強く要望をしてもらいたい。また、熊本空港アクセス鉄道の中間駅に、パークアンドライドの駐車場整備をすることで、空港利用者や町周辺の駐車場不足対策やイベント(つつじ祭り、地藏祭り、からいもフェスティバル)などもフェスティバル)などの駐車場不足の問題解決にもなる。

A 熊本空港アクセス鉄道の整備を着実に進めることに加え、中間駅周辺を含む沿線地域の交通利便性や生活動線の確保を図っていくことが重要である。

現時点では具体的な整備方針を申し上げる段階にはない。今後、中間駅周辺の開発とあわせて、必要な機能として位置付けるべきかどうかを関係機関や地域の皆さんと意見を踏まえながら整理をして行く。

(町長)

Q 日本版DBS 町の準備体制は

A 体制を整備し、連携し対応する



きよはら 清原 さおり議員



日本版DBS（子ども性暴力防止法）とは

学校、保育所、学習塾等、子どもと日常的・継続的に関わる教育・保育等を行う事業者に対し、子どもに対する性暴力を未然に防止するための取組を求める制度。

- ① 子どもを性暴力から守る環境整備の推進
- ② 子どもと接する業務に就く者について、性犯罪歴の確認を行う仕組みの導入
- ③ 子どもに対する性暴力のおそれがある場合に、適切な配置・業務調整等を行う体制の構築

子どもに対する性暴力を決して許さない社会の実現

業務対象→学校、認可保育施設、児童養護施設、障害児施設等（公立・私立を問わず対象）

認定対象→認可外保育施設、学童クラブ、学習塾、スポーツクラブ等 ※子ども家庭庁への申請により認定を受けた場合に本制度の対象

出典：子ども家庭庁 公表資料

Q 日本版DBS（子ども性暴力防止法）が令和8年12月に施行される。子どもへの性暴力を決して許さない社会の実現に向け、教育・保育などの現場において従事者の性犯罪歴確認や防止措置が義務付けられる制度である。この制度は単なる確認にとどまらず、厳格な個人情報管理や不当な差別を生まない運用が求められる点も重要である。町における体制整備や実務対応、関係者への周知は。

A 子育て支援課と教育委員会を中心に関係部署が連携し対応する。児童保育などは認定取得を基本としつつ対象事業所や課題など整理を進め、個人情報情報は厳格に管理する考えである。

説明会や職員研修の実施、相談窓口の整備を進め、現場の不安解消と円滑な制度運用を図る。また、広報などで制度についてしっかり周知していく必要があると考えている。

子どもの権利と安全を守る実効性ある運用に向け、着実に準備を進めていく。（町長）

Q 食農教育を推進すべきではないか

A 食と農に触れる学びの機会の充実に努める



おおむら ゆういちろう 大村 裕一郎議員



カライモ

Q 食育基本法が2005年に制定され、様々な取り組みが「食育」として実践されてきた。また、食育と農業を掛け合わせた「食農育」が提唱され、普段口にする野菜の名前が分からないなどの知識不足だけでなく、子ども朝食欠食や、コミュニケーション不足など一人で行う食事をするいわゆる「孤食」などの課題解決のため、地産地消の取り組みや農業体験などが行われている。

A 近年、特に中心部では児童生徒が農業に触れる機会が減少しており、その補完として、栄養教諭が自ら生産現場を取材・制作した動画を給食や授業で活用している。

今後は、こうした生産者の想いを伝える活動を各校の指導計画と効果的に連動させ、食への理解と感謝を深める「食育」の更なる充実に努めていく。（教育長）

その他の質問

・物価の上昇に伴う町の動きについて

Q 開かずの踏切問題について

A 南北道路を整備し、交通を分散させる

前提条件 (ラッシュ想定・現実的設定)
 アクセス鉄道開業後は
 約5分間隔 (12本/時・上下合計) を想定

駅横踏切【上下平均】なので
 ・警報開始→遮断降下: 15秒
 ・時刻待ち (ホーム停車中): 60~90秒
 ・発車→通過→安全確認: 15秒

1列車あたり60秒~120秒 (平均15分) 閉鎖

これは「実際に駅横踏切でよく見る値」

7:00~8:00シミュレーション

列車	発車時刻	閉鎖開始	閉鎖終了	列車	発車時刻	閉鎖開始	閉鎖終了
1本目	7:00	7:01:30	1:5分	2本目	7:05	7:06:30	1:5分
3本目	7:10	7:11:30	1:5分	4本目	7:15	7:16:30	1:5分
5本目	7:20	7:21:30	1:5分	6本目	7:25	7:26:30	1:5分
7本目	7:30	7:31:30	1:5分	8本目	7:35	7:36:30	1:5分
9本目	7:40	7:41:30	1:5分	10本目	7:45	7:46:30	1:5分
11本目	7:50	7:51:30	1:5分	12本目	7:55	7:56:30	1:5分

合計閉鎖時間12本×15分=18/時間 結果※7時台の30%が遮断状態

その他の質問

- ・部活動におけるハラスメントについて
- ・三吉原北出口線道路補修について



やまべ りょうじ
 山部 良二議員

Q 肥後大津駅前陣内踏切は駅に隣接する陣内であり、朝夕は慢性的に車列が発生、熊本空港アクセス鉄道開業後は、列車が発車する前から遮断機が降下する構造のため、警報開始から約90秒閉鎖し、1時間のうち約18分、実に30%が遮断状態となり、車が滞留する。バスが遅れる・通学路が遮られる・緊急搬送が遮断され命に関わる問題が発生する可能性がある。また南北を通す道路整備など具体的な検討スケジュールは。

A 熊本空港アクセス鉄道整備後は、列車本数の増加に伴い、時間帯によっては踏切遮断が交通の流れに与える影響が大きくなることは、十分に認識している。今後南北道路を整備し、交通を分散させる方向で検討を進めている。また鉄道整備の進捗や周辺交通の状況を踏まえ、県や関係機関とも連携し、段階的な実効性のある交通対策の具体化を進めていく。(町長)

Q 外国ルーツの子どもと保護者の支援づくりを

A 補助事業活用を含め検討する



有志による学習会の様子

その他の質問

- ・介護認定における申請から決定までの期間短縮と、広域連合との連携強化による事業効率化について



さんのみや みか
 三宮 美香議員

Q 外国にルーツを持つ子どもと保護者の日本語習得状況の把握と支援体制について、児童生徒は増加しているが支援員は限られ、十分な指導時間とは言えない。保護者の日本語理解不足は進学や生活にも影響する。有志による学習支援も行われており、会場費免除など活動を支える仕組みづくりと体系的な支援体制の構築が必要ではないか。

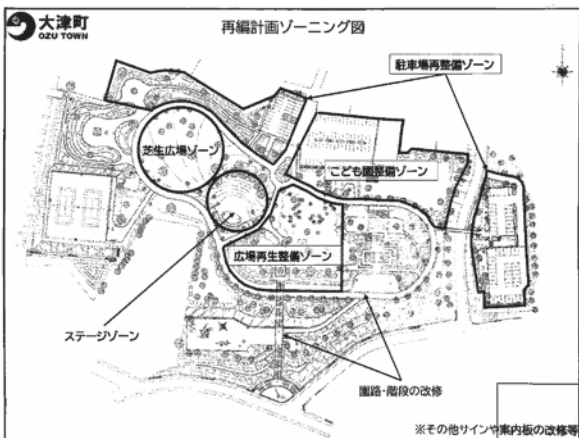
A 日本語指導はNPOと連携して実施し、習得状況も把握している。保護者支援では相談窓口や多言語・やさしい日本語での情報提供を行っている。交流会や受け入れ体制整備も進めている。自主的な学習会は把握しており、今後、連携やあり方を検討する。会場費減免は公平性の観点から現時点では困難だが、補助事業活用も含め検討する。(町長・教育長)

Q 昭和園再編事業は町民との協議の上計画を

A 多様な意見を伺うことができるよう検討する



いわし けいし
岩下 啓史議員



昭和園再編事業計画図

Q 昭和園再編事業は前回の説明会では町民からは不安の声もあった。木々の伐採、インクルーシブ遊具の設置などが示されたが、現在計画中の公園整備の内容とその理由を尋ねる。今後の計画においては、説明とヒアリングをするだけでなく、共同形成のプロセスを取るということが大事だと考える。そこで、町として昭和園のリニューアル事業について町民や昭和園利用者も混ぜて、ワークショップなども行い、多面的な意見を出してもらおうというような考えはないのか。

A 昭和園は自然や地形を生かした魅力ある公園であり、子どもも安心して利用できる場として整備する意義がある。令和9年度からリニューアル計画づくりに着手し、住民参加の機会を設けながら、公園の在り方や整備の方向性を整理していく。その際に昭和園の歴史や景観、文化、そこに根付く町民の皆様の感情や思いに十分配慮することは重要だ。現在の課題も踏まえ、安全性と利便性の向上に向け見直しを行う。住民参加を基本としつつ、専門的知見も活用し、誰もが利用しやすい公園づくりを進める。(町長)

その他の質問

- 一刻も早く0~2歳児の保育料無償化を

Q 肥後大津駅南口閉鎖時間帯の南北通行確保の課題

A 現時点では約束できない



にしかわ ひでつく
西川 秀貞議員



肥後大津駅南側

Q 現在、肥後大津駅南口は夜10時から朝6時まで閉鎖され、最終便や始発便の利用者は線路沿いを大きく迂回しなければならず、暗く危険な状況となっている。南口のピタターセンターが町の施設であることを知らない町民も多く、北口南口を含め「駅が開いていない」との不満が生じている。例外的に通行を認めているのであれば、せめて運

行時間帯は開放すべきであり、最終便や始発便に利用できないのでは駅の役割を果たしていない。
A 町としても利便性向上の必要性は認識している。今後、駅周辺整備や利用環境の改善、JRとの協議、利用実態の把握、人員体制や安全管理条件の整理を進め、駅南口閉鎖時間の見直しが妥当かどうかを総合的に判断していく。(町長)

その他の質問

- 町内事業者の活用による庁舎・中央公園の利便性向上と地域活性化について
- 地域通貨(ポイントカード)システム導入による給付事務の効率化と地域経済活性化について

Q 空港アクセス鉄道本社を中間駅に誘致すべき

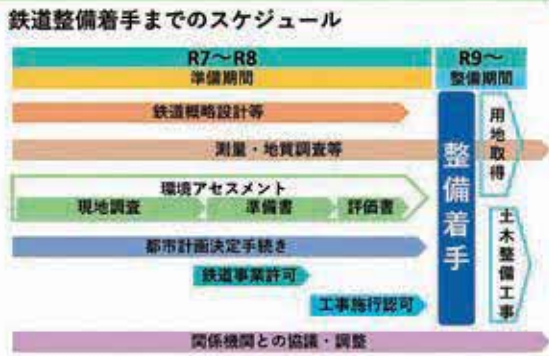
A 本社立地は望ましいが効果の見極めが重要



ときまつ ともひろ
時松 智弘 議員



【参考】今後の予定について



県が示している計画に併せ本社誘致を

その他の質問

- ・町村合併 70 周年におけるシティプロモーションについて
- ・ノイジーマイノリティや反対活動家への対策について

Q 第3セクターの平成筑豊鉄道本社ができた金田駅は、本来旧赤池町に作られる予定だったが地元の根拠なき反対運動により計画が消滅したが、旧赤池町史には町の発展を阻害したと記載されている。同じ轍は踏めない。

鉄道インフラ整備に素人意見は全く不要。宮城県仙台空港株式会社を町長も視察されたが、鉄道事業地域に運行管理施設を設置するのは当然の事。「杜せきのした駅」同様に中間駅設置とともに本社を誘致し、事業に出資する考えを伺う。

A 第3セクター本社の誘致及び事業者への出資は、地域経済の波及効果や雇用の創出、町としての関与の在り方といった観点から、将来を考える上で重要な論点である。県の計画は未確定な部分が多い状況だが本社機能を町内に立地する・しないを比較すれば立地する事の方が望ましい面があるとの認識をしている。しかしながら実質的效果が生じるのかを見極めることも重要。今後も県及び関係機関と連携し、情報収集と分析を重ね、出資の可否も含め適切に判断する。(町長)

どうなった？ あの質問の行方

過去の一般質問や委員会審査で議員が行った町への提案が、実際にどのように町政に反映されているのかを追跡調査してお知らせします。

R5年9月 定例会一般質問

質問

熊本県及び、県内自治体のスポーツ施設を始め、多くの公共施設で導入されているネーミングライツを本町でも導入する考えはないか。

答弁

指定管理者「大津つなぐプロジェクト」の意見も聞きながら、また他自治体の導入状況も含めて事務的な命名権料の妥当性など課題を整理してサウンディング調査を進めていきたい。

R7年6月 定例会一般質問

質問

町と社協が実施しているフードドライブパントリーについて、年末に1回行っているが、年2回に増やせないか。

答弁

回数等については、関係団体とともにできる限りの検討を行っていきたい。

対応状況

対応状況
ネーミングライツの公募を令和8年5月に開始し、導入に向けて進めていく。

ネーミングライツ(命名権)とは、スタジアムや体育館、公園などの公共施設に、企業名やブランド名を含む愛称を付ける権利

対応状況
現在、食料の寄付が不足しており、共同募金の配分金を活用して実施している状況から、年2回の実施は現時点では困難であると考える。

引き続き、食料の寄付確保や実施体制について、民間団体等へ働きかけを行う。

広報編集特別委員会 研修会レポート

研修先

1. 福岡県大刀洗町
多くの町民を掲載、意識の変化
2. 福岡県志免町
インスタグラムの活用について

① 福岡県大刀洗町議会



大刀洗町議会は、全国的にも高い評価を受ける議会広報に取り組まれており、その背景には議会改革の積み重ねがあることが示されました。特に「議会活動そのものが広報の素材となる」という考え方が徹底されており、日常の議会活動を町民に分かりやすく伝える工夫が随所に見られました。

広報紙は、十分な情報量を確保しながらも、余白や写真を効果的に活用することで読みやすく、洗練されたレイアウト、デザインとなっていました。

さらに、広聴機能を広報委員会ではなく議会全体で担っている点や、広報委員会を常任委員会として位置付けている点も特徴的であり、「住民の皆さんとの双方向型の紙面づくり」にとっても共感しました。本町議会における体制の在り方を検討する上で大変参考となる視察となりました。

② 福岡県志免町議会



志免町議会では、広報委員会を常任委員会として設置し、年間を通じた継続的な情報発信に取り組みられている点の特徴です。

広報紙は、見出しや吹き出しなどのポップ表現に工夫が凝らされており、親しみやすさと視認性を両立した紙面づくりがなされていました。また、臨時号の発行や集合写真の掲載など、町民に議員の顔を覚えていただくための工夫も見られました。

「議員と語る会」などの議会活動を積極的に広報紙へ反映し、活動と広報が連動する好循環が生まれている点が印象的でした。加えて、公式SNSの活用を含めた通年での情報発信体制も整備されており、本町議会においても今後の広報活動の充実に向けて大いに参考となる内容でした。

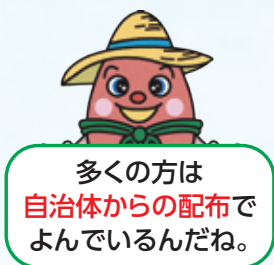
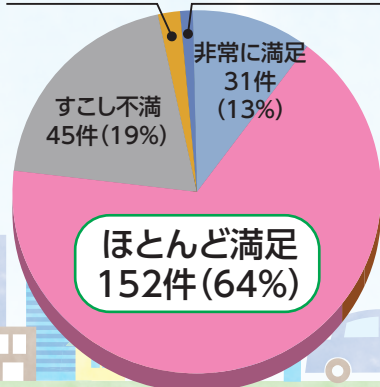
今回の視察で得た知見を生かし、より親しみやすく分かりやすい議会だよりづくりに努めてまいります。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

令和7年7月23日から12月31日まで議会だよりに関するアンケートを行い、合計236件のご回答をいただきました。ご協力いただいた皆さまありがとうございました。これからもアンケート結果をもとに議会だよりを通してより良い情報提供を行ってまいります。

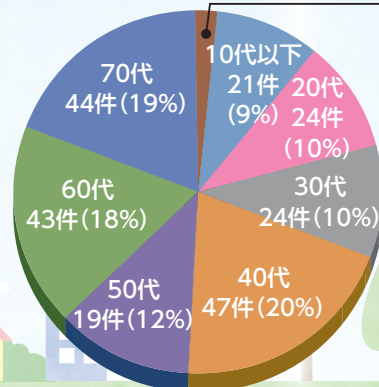
おおづまち議会だよりの満足度を教えてください

不満 5件(2%) 非常に不満 3件(1%)



年齢を教えてください

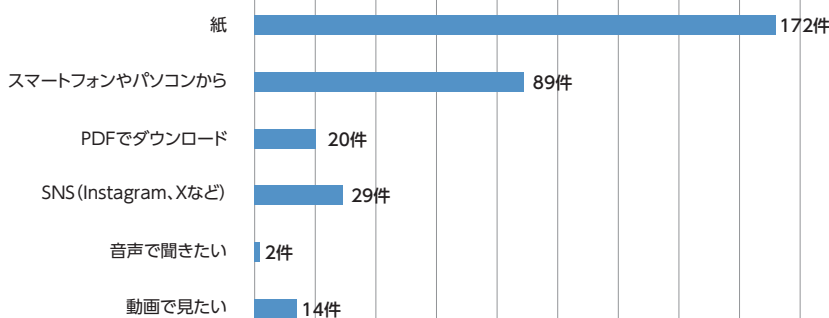
80代以上 4件(2%)



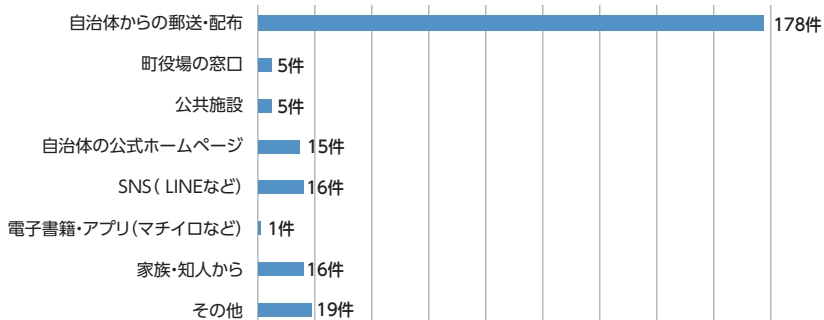
インターネット経由を希望の方も多だね。



議会だよりをどのような形で読みたいですか



おおづまち議会だよりを読んだきっかけはなんですか



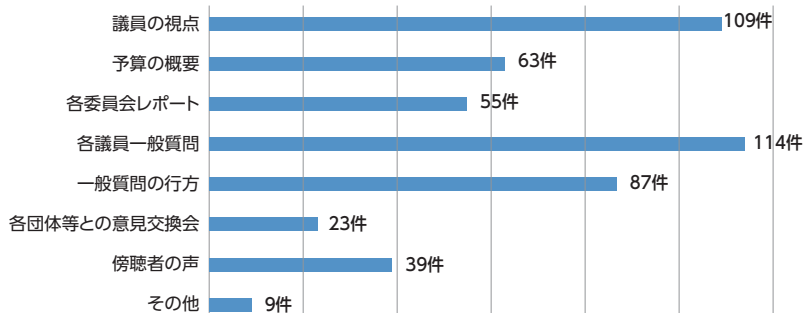
多くの方は自治体からの配布でよんでいるんだね。HPとSNSでの配信も強化しないと!



議員の発言は町民の方も注目されているね。一般質問のその後もしっかりお伝えしていかないといけないね。



読む時にかならず読むコーナーがあれば教えてください



大津町農業委員会との意見交換会

意見交換テーマ

・大津町の農業における現状の課題

2月10日(火)、町役場2階町民協働ルームにて、議会改革特別委員会主催による町農業委員会との意見交換会を開催しました。

冒頭、坂本議長が「課題や困りごとを率直に聞かせていただきたい」と挨拶し、津田農業委員会会長からは「町議会との意見交換会は初めて。有意義な時間にした」との言葉がありました。

その後、農業委員会事務局から町農業の概要説明が行われ、有害鳥獣対策や約3割に及ぶ耕作放棄地、担い手不足など、地域農業が抱える課題について活発な意見交換が行われました。

今後も各種団体との意見交換を重ね、課題共有と町政への反映につなげていきます。



定例会総括

議員の視点

委員会レポート

一般質問

研修会レポート

アンケート集計

インスタ



大津町議会公式Instagram 元気に稼働しています!



今年1月19日から試験的に運用開始した大津町議会公式Instagramアカウントですが、議会の承認を経て、4月1日から正式に運用することになりました。

議会・議員活動報告をメインに、動画撮影のNG集などのコンテンツも投稿しています!ぜひフォローをお願いいたします!

議 会 を 観 て の 生 の 声

3月定例会の傍聴者数のべ82人、ライブ配信再生回数 1,032回 録画配信再生回数 165回 (5/11時点)

議会を通して学びにつなかりました。



やました きいち
山下 輝吉さん
(美咲野)

一般質問の2、3、4回目を傍聴しました。高校生の頃に議場体験をしたときに興味を持ち、今回は大学受験後に傍聴へ行きました。

内容は教育や介護など、幅広い観点からの質問や行政側による受け答えや説明を聞き、議会は聞くだけでなく私自身も学ぶことができる場だと改めて感じました。特に食農教育やポイントカード制度の質問について『生きた教材』である給食を使った教育を行うことや『ゴールに向けて小さな所から進めていくこと』という言葉から別の考え方に気付くとともに自分を見直すきっかけにもなりました。

また議会配信について、議場に行けない方でも気軽にみるできるので、非常に便利だと自分も使ってみて感じました。

そして議会情報を収集しやすくするために傍聴席内でもメモを取りやすいような物を設けると良いと思いました。議会を傍聴して友人や知人へありのままを的確に分かりやすく伝えていきたいと思え、今後の課題も含めて大津町の未来を想像することができました。

表紙こぼれ話



大津町町村合併70周年×本田技研工業(株)熊本製作所50周年記念 バイク特別展示の様子を表紙に選びました。

今年度の当初予算の中で「バイクのまち大津町×ホンダ熊本製作所50周年記念展示」事業予算86万6千円が計上され、今定例会の中でも大津町議会として、しっかりと審議を行い、可決にいたしました。

また、大津町企業連絡協議会からもご協力をいただいております。広く住民の皆さまへ「バイクのまち」「モノづくりの素晴らしさ」をPRするための事業です。7月17日(金)まで大津町役場1階にて展示してありますので、どうぞ足をお運びください。

次回定例会は

6月3日(水)開催予定

(日程は変更になる場合があります)

日程 6月3日(水)～16日(火) (予定)

会場 庁舎 4階 議場

議会広報編集特別委員会

編 集:(委員長)大村 裕一郎 (副委員長)清原 さおり
(委 員)三宮 美香/村山 龍一/中山 直之

発行責任者:(議 長)坂本 典光

令和8年6月1日 第115号 発行/熊本県菊池郡大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会 印刷/株式会社キャップ

〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

●●●● 編 集 後 記 ●●●●

田植えの風景が広がり、初夏を感じる頃となりました。広報委員会に入り1年、議会の内容を分かりやすく伝える難しさと、その大切さを日々感じています。先日は先進自治体への視察研修へ行き、多くの学びを得ました。これからも「町民と行政がつながる」広報づくりに努めてまいります。皆様のお声をぜひお寄せください。

(中山 直之)